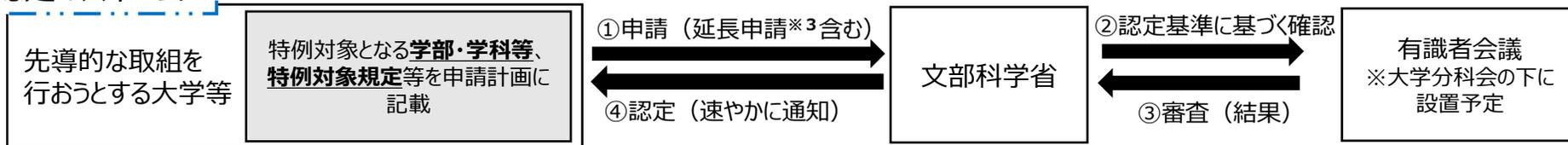


教育課程等に係る特例制度について

参考資料 5

申請・認定のスキーム



①申請

・認定を受けようとする大学等の学長は、申請書に申請計画書その他文部科学大臣が別に定める書類^{※1※2}（適合認定を示す書類、内部質保証に係る書類、情報公表を行っている事実関係を示す書類等）を添えて申請

- ※1 申請計画書において、（1）申請目的、（2）先導的な取組として特例対象規定の全部または一部によらない教育（先導的な教育）を行う学部等、（3）先導的な教育において、その全部又は一部によらないこととする特例対象規定、（4）先導的な教育の実施内容、（5）先導的な教育を行わない場合に比して、教育研究水準の向上に資する取組である根拠、（6）学生に対する適切な配慮のための具体的な措置、（7）実施予定期間、（8）先導的な教育の実施を通じて得られる教育効果の検証に係る計画、を明らかにする
- ※2 インターネットの利用により別に定める書類を公表している場合には提出の省略が可能

②認定基準に基づく要件確認

・文部科学大臣は、申請があった場合には、有識者会議（※大学分科会の下に置くことを想定）の審査を経て、当該申請に係る認定を決定

【認定基準】

- ・申請日の直近の認証評価において適合認定を受けていること
- ・自己点検評価・見直しの体制が十分整備されていること並びに教育研究活動等の状況を積極的に公表していること
- ・不適合要件に該当しないと有識者会議で認められること
- ・申請計画書において、上記※1の内容が明らかにされていること及びその内容が確実に実施されると見込まれること

【特例対象規程の一例】

- ・第19条第1項（自ら開設の原則）
- ・第28条、第29条第2項及び第30条第4項（単位互換等の60単位上限）
- ・第32条第5項（遠隔授業の60単位上限）
- ・第37条（校地面積基準）、第37条の2（校舎面積基準）

③有識者会議における審査（結果）

- ・先導的な教育の適正な実施のため必要があると認めるときは、認定に条件を付し、及びこれを変更することができる
- ・認定を行う場合においては、申請計画書において大学等が申請する実施予定期間を踏まえ、その認定期間を定める

④認定

・認定後、申請大学等の学長に対し、速やかにその結果を通知（併せて、文部科学大臣はインターネット等によりその旨を公示）

- ※3 延長申請：認定を受けた大学等（教育課程等特例認定大学等）が認定期間の延長を申請した場合において、特に必要があると認めるときは、当該認定期間を延長することができる

認定後のスキーム

大学が行うこと

- 報告
 - ・年1回の実施状況報告
 - ・認定期間終了後の検証報告

文部科学省・有識者会議が行うこと

- 報告徴収等（必要時）
- 是正要求（必要と認めるとき）
- 認定の取消（円滑かつ確実な実施が見込まれなくなったとき等）
- 分析、大学への助言・フォローアップ

特記事項

- 認定の取消に当たっては有識者会議で審査し、認定取消した場合の経過措置として、認定期間中に先導的な教育を行う学部等において先導的な教育を受けている学生が在籍している間は、先導的な教育を継続することが可能
- 申請計画書に記載する特例対象となる学部等、特例対象規定を変更しようとするときは文部科学大臣の認定を、それ以外の事項について変更する場合は事前届出（軽微なものを除く）を要する。1

大阪教育大学と札幌大学の連携による教職科目を自ら開設できる仕組みの構築
—先導的な教職科目の全国・地域への展開を通じた質の高い教師人材の安定的な輩出を目指して—

教員養成を取り巻く現状・課題

- 全国の教育委員会に置いて「教師不足」が深刻化
- 学校現場を取り巻く環境の変化（子ども一人一人の学びの引き出し、いじめ・不登校、外国にルーツのある児童生徒等の増加 など）
- 教師に求められる役割や資質能力が多様化（学習観・授業観の転換）
⇒ 教職課程では新たな教育課題に対応した科目の充実が急務
- しかし、人的にも財政的にも資源に限られている現状において、個々の大学単独では教職課程を維持することが極めて困難

モデルケース②【学修の多様化・深化 × 大学間連携】を適用
特例対象規定：授業科目の自ら開設の原則

新たなモデルの構築

地域社会

知的資源の効率的活用による教職課程の裾野拡大
多様な専門性と質の高い教師の安定供給

大阪教育大学

先導的な教職科目を広域的に普及・発信
教員養成の質保証や高度化をけん引
学習観・授業観の転換を担う教師の拡充に貢献

教員養成課程

先導的な教職科目、フラッグシップ指定科目を提供

札幌大学

教職課程の効率的展開
次世代型教職課程の開講
北海道の私大の中核として質の高い教師の養成に貢献

教職課程

大教大の教職科目、フラッグシップ指定科目を
自ら開設

Win-Win